



雛人形の前に並ぶ女の子たち

## もうすぐ ひなまつり

2月8日、西部保育所で、子どもたちがひなまつりの準備をしました。  
雛人形は、地域の皆さんから寄付していただいたもので、毎年この時季になると、子どもたちが協力して雛人形の飾り付けをします。また、お外遊びで拾ってきた木の枝をピンクに色をつけた紙と合わせて桃の花を作って、部屋の中を華やかに飾り付けます。

各保育所では、3月1日にひなまつりの行事があり、イベント当日は年長の子どもたちが年中・年少のお友達にお茶やお菓子を振る舞い、ひな祭りを楽しみます。

## 「わたしとみんなの未来計画」説明会

2月10日、十四山スポーツセンターで「第2次弥富市総合計画市民説明会 ～わたしとみんなの未来計画～」が開催され、市民や市総合計画審議会委員など約200人が参加しました。

最初に、同審議会会長で中京大学経済学部の釜田公良教授から2年に亘る計画策定までの経緯について説明があり、続いて、市長から、市の2019年度から10年間の基本構想を中心に第2次総合計画の特徴などについて説明がありました。最後に、同審議会委員で愛知大学法学部の入江容子教授から「総合計画の過去・現在・未来～市民協働と職員実践のキャンパスとして～」をテーマに基調講演が行われました。



第2次総合計画について説明する安藤市長



「弥富防災・ゼロの会」の紹介の様子

## 地域づくり補助金説明会

1月19日、総合社会教育センターにて、「地域づくり補助金」説明会＆活用団体のご紹介を開催しました。地域づくり補助金とは、地域の安全、福祉、環境美化などあらゆる分野で地域のために自主的かつ主体的に行う公益的なコミュニティ活動に対して支援する補助金です。

説明会には、補助金を活用されている団体や市民の方が40名ほど参加され、補助金の活用方法について説明を受けました。

また、「弥富防災・ゼロの会」と「弥富ふるさとガイドボランティア」の2団体が、日頃の活動の紹介を行いました。実際の活動の様子などの写真を見せながら、地域のために行っている活動を紹介し、参加者は今後の活動の参考としていました。



市ホームページ内フォトギャラリーや公式ツイッターでもまちの話題を紹介しています!



▲「金魚の街で出っ展」(弥富市絵手紙サークル)

### やとみ 歴史探訪

このコーナーでは、弥富市のまだまだ知られざる歴史について、弥富ふるさとガイドボランティアが紹介していきます。

#### 明治の東海道(その7)

広報2月号でご紹介した「烏の池」から北東に進むと、すぐ左側に子宝の集会所があります。その中には、市指定文化財である「木造阿弥陀如来半跏倚像」がまつられています。

この仏像は子宝の観宝院に伝わるもので、仏様が今にも立ち上がろうとしている「半跏倚」の形が全国的にも珍しいものです。像の胎内から「延宝2(1674)年」と記された文書が見つっていますが、実際の製作年代はもっと古いと考えられています。台座の一部は波を表していて、水害に対する安全の願いが込められていると伝えられています。

明治の東海道は、子宝の集会所からさらに東に続きます。

▲木造阿弥陀如来半跏倚像

## 空き家対策協定締結

1月23日、「弥富市空き家等対策に関する協定締結式」が十四山支所にて行われ、県宅地建物取引業協会梅田副会長と市長によって協定書を交わしました。

この協定により、市内に空き家を所有している方で、空き家に関してお困りの方は、協会による空き家総合相談窓口【☎(052)522-2567】を利用できるようになりました。ぜひ、ご利用ください。



協定書を取り交わした梅田副会長と市長

## 鬼は外!福は内!

2月1日、各保育所にて、節分の行事として豆まきが行われました。白鳥保育所の子どもたちは手作りの鬼のお面を友達に紹介した後、「心の中にいる鬼さんが出ていきますように」と願いをこめて友達と豆をまきました。

その後に登場した、怖い鬼から逃げ回りながら、一生懸命豆まきをして追い払いました。所庭には、子どもたちの「鬼は～外!福は～内!」という元気いっぱいな声が響き渡っていました。邪気を払い、綺麗な体で新しい春を迎える楽しい行事となりました。



一生懸命豆まきをする子どもたち